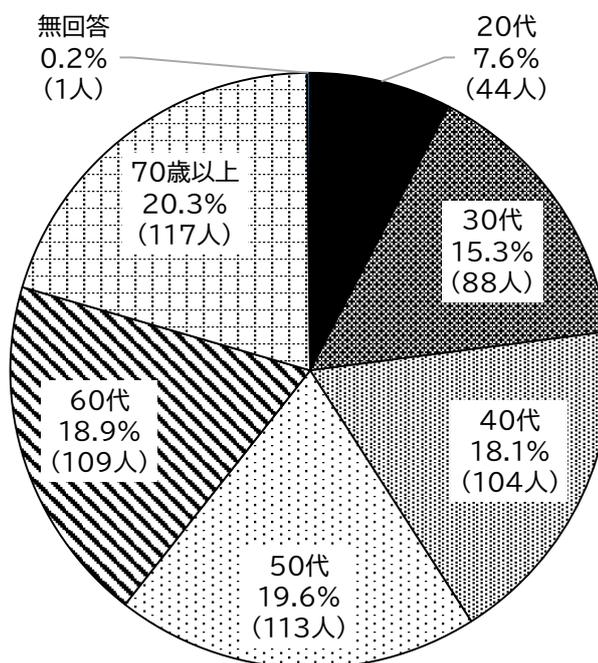


第2章 回答者属性

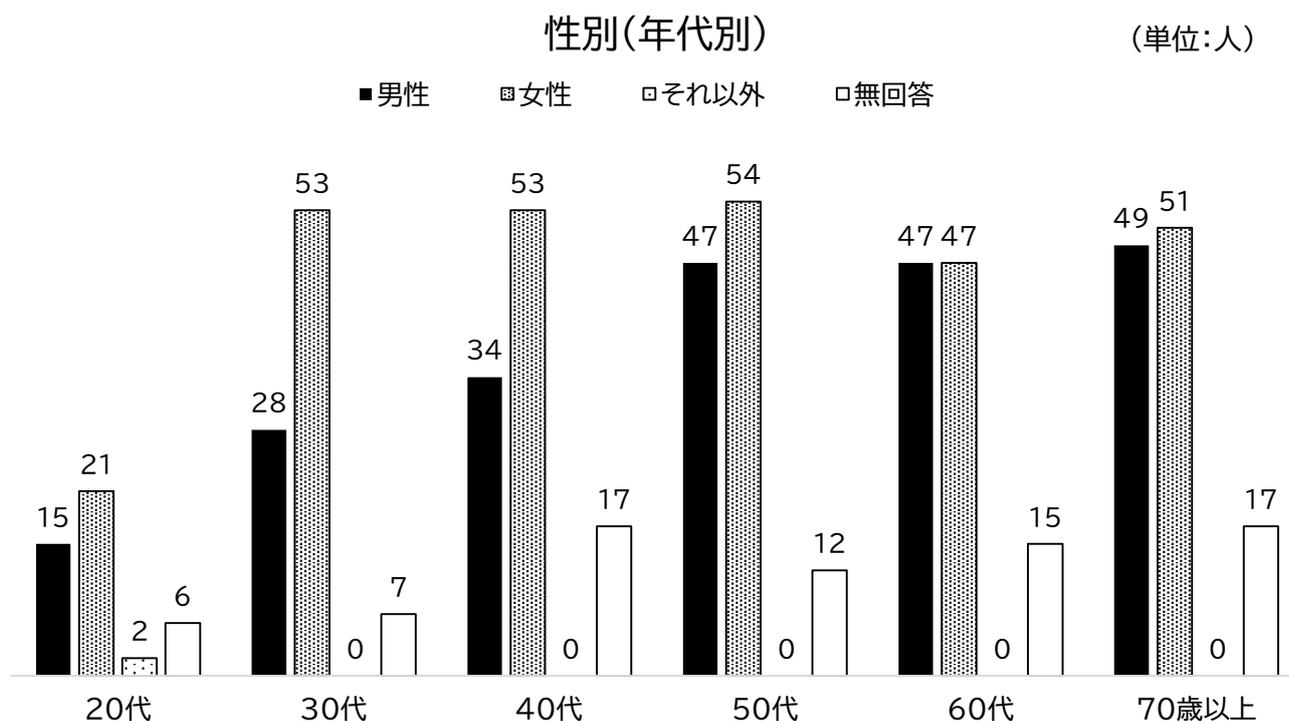
1. 年齢

有効回答数576 件のうち、70歳以上が20.3%と最も多く、30代から60代まで15%以上であったのに対し、20代が7.6%となっています。年代が上がるにつれて回答者数が増える傾向にあります。

年代	人数	割合
20代	44	7.6%
30代	88	15.3%
40代	104	18.1%
50代	113	19.6%
60代	109	18.9%
70歳以上	117	20.3%
無回答	1	0.2%
計	576	100.0%



年代別の性別(P.78附属アンケート結果参照)については、60代を除く各年齢で女性の回答数が多く、特に30代、40代ではその傾向が強く見られます。

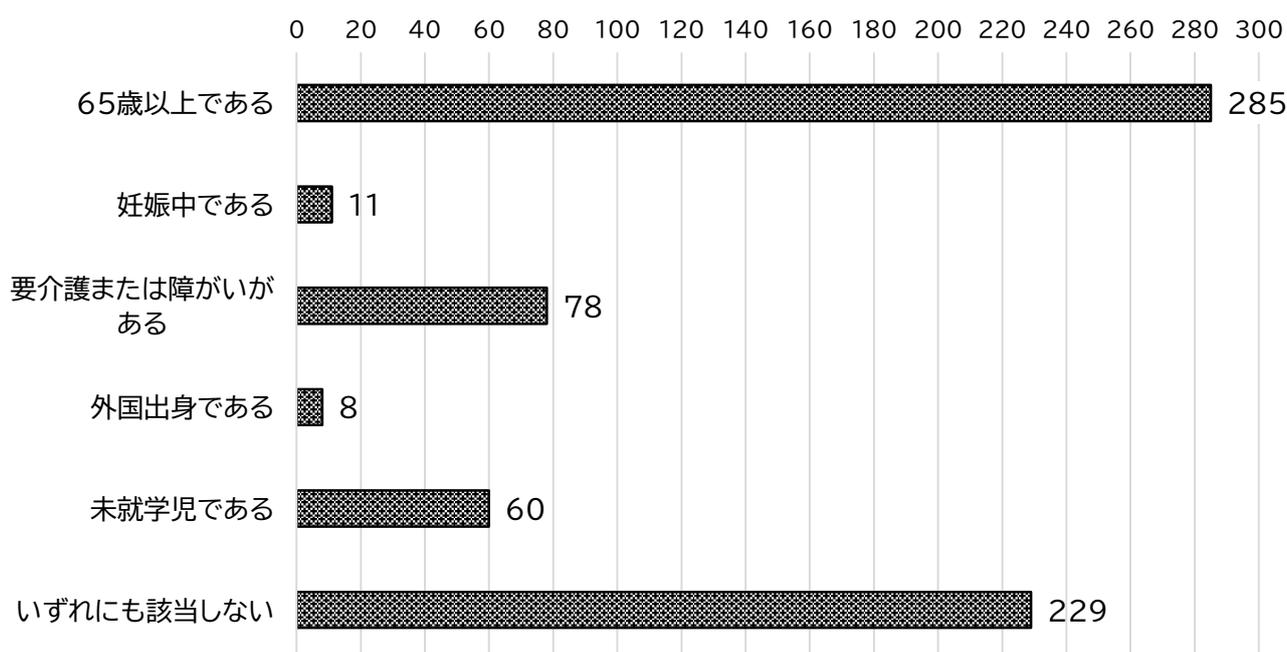


2. 世帯の状況

同居する方が65歳以上であるとの回答は、40代で35.6%、次いで50代で32.7%の順に多くなっており、これらの世代については約3割の方が65歳以上の高齢者の方と同居していることが分かります。本人もしくは同居する方が妊娠中との回答は30代が9.1%、外国出身との回答は50代が4.4%、要介護または障がいがあるとの回答は60代で18.3%、次いで50代で17.7%の順に多くなっています。同居する方が未就学児であるとの回答は30代が35.2%で最も多くなっています。

<全体>

(単位:人)

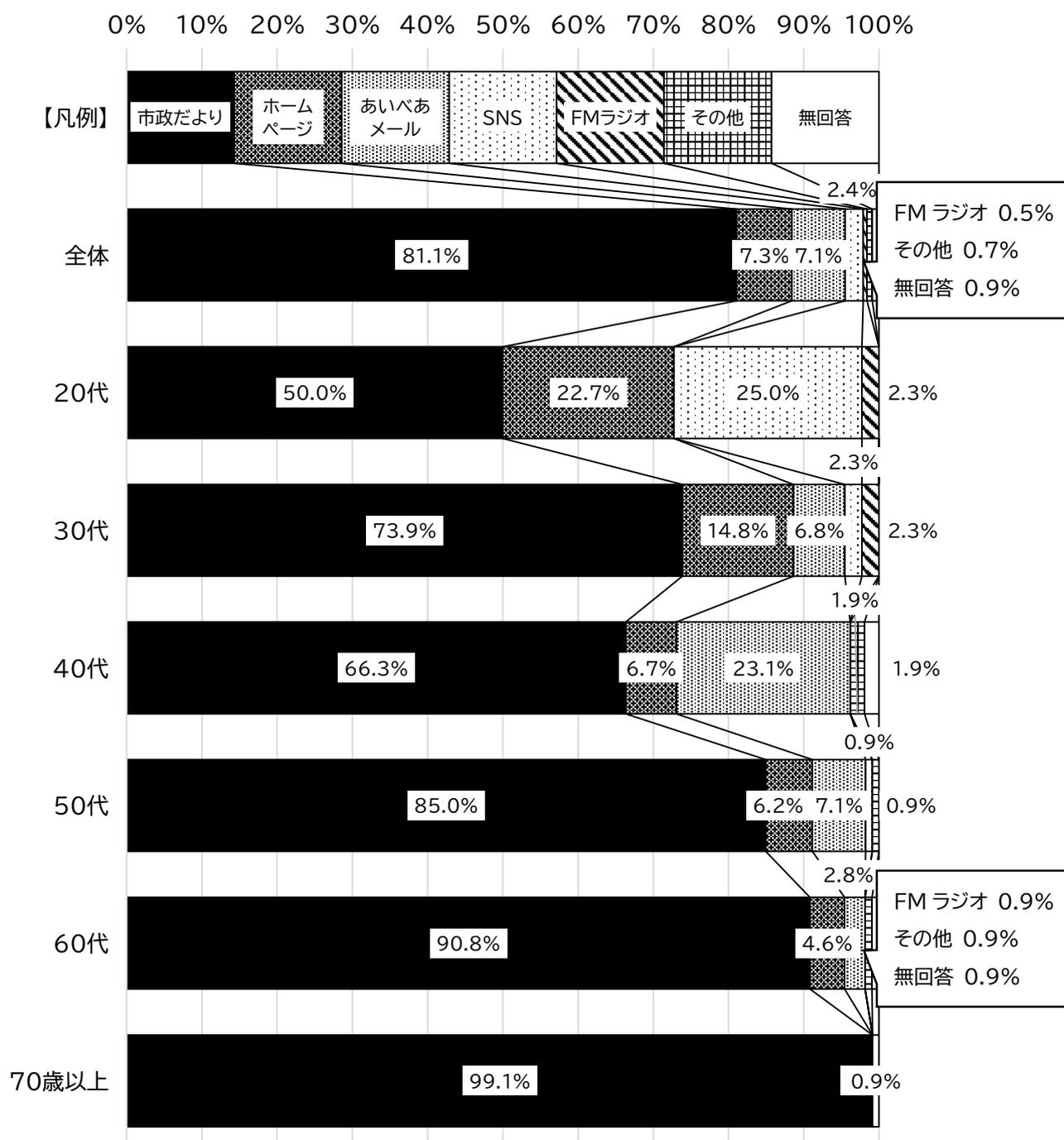


<年代別> ※各世代の該当者数/各世代の回答者総数

項目	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
65歳以上である	18.2%	18.2%	35.6%	32.7%	—	—
妊娠中である	0.0%	9.1%	0.0%	0.9%	0.9%	0.9%
要介護または障がいがある	9.1%	8.0%	10.6%	17.7%	18.3%	13.7%
外国出身である	2.3%	0.0%	0.0%	4.4%	0.9%	0.9%
未就学児である	18.2%	35.2%	8.7%	3.5%	3.7%	3.4%

3. 市が発信する情報の収集手段

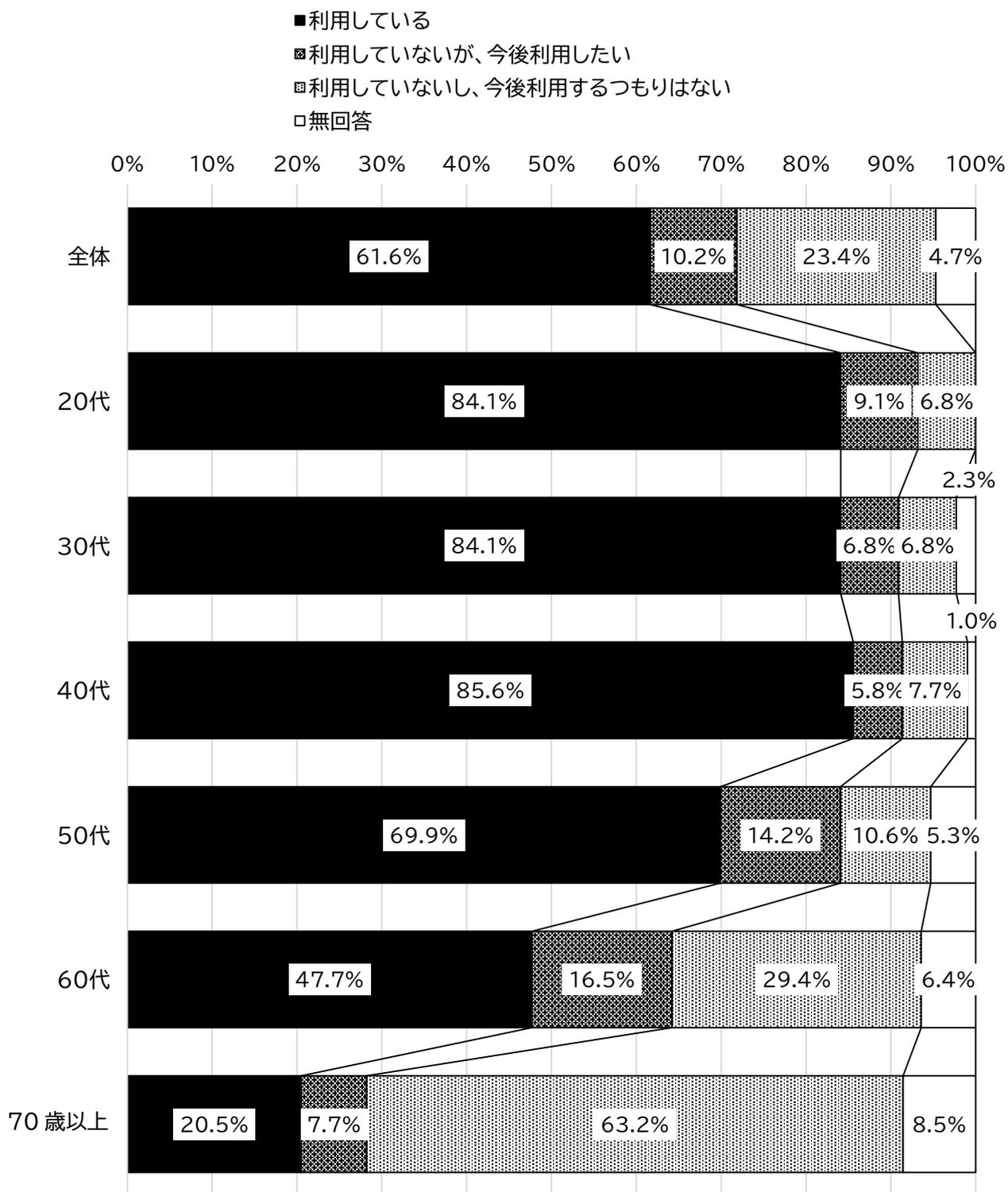
「市政だより」が81.1%と、どの年代においても最も多くなっており、70歳以上ではほぼ100%となっています。年代別では、20代で「ホームページ」や「SNS」が合わせて47.7%となり、市政だよりとほぼ同数となっています。20代から40代の若い世代で、「あいバあメール」を含めたインターネットを利用した情報収集が多い傾向があります。



【その他回答例】 ・そもそも市の情報に興味がない ・人から聞く ・テレビ

4. 情報収集手段としてのインターネット利用の有無

全体で61.6%が利用しており、年代別の利用率は20代から40代で約85%と高い割合となっています。一方、70歳以上の利用率は20.5%に留まり、63.2%が今後も利用するつもりはないと回答しています。



5. 情報収集手段としてインターネットを利用しない理由

問4で「2.利用していないが、今後利用したいと考えている」、「3.利用していないし、今後も利用するつもりはない」と回答した方の35.6%が「必要性を感じない」と回答しており、次いで「操作がむずかしい」が22.2%、「インターネット環境がない」が18.0%と続いています。

年代別に見ると、40代以上の方から「操作がむずかしい」との回答が顕著になり、50代・60代においては「インターネット環境がない」との回答も多くあり、高齢世代を中心とした情報格差(デジタル・デバイド)が見られます。

